

審査員からのコメント

環境に配慮した果実袋の開発

～「バショウ」から始まるサステイナブルな農業～

本作品は、「芭蕉和紙」を地域の基幹農業に応用した取り組みである。ステークホルダーである地元の農家への聞き取りの中から、廃プラスチックやブドウの着色不良などの課題を抽出し、果実袋を発想したことが活動のトリガーとなった。開発した果実袋は、廃棄された芭蕉を主原料にキウイの選定枝を利用して作られており、身近な未利用資源の有効活用であること、また、ゼロプラスチック製品であり使用後は土に返るなど、SDGsの観点からも大変興味深い。さらに、果実袋のコスト上昇分をブドウの高品質化で相殺し、農業収入を増加させる効果も期待できる。今後、果実袋が商品化され、サステイナブルな農業に貢献していくことを大いに期待する。

